

市民協働センター

情報誌 第12号
2016(平成28)年2月号

第7回 郡上まちづくりフェスティバル開催



前回から、郡上の未来をテーマに「GOOD郡上プロジェクト」として中学生の子ども達からの課題解決型の提案を募集し、今年は市内5校から82件の提案があり、226名の生徒が参加してくれました。

その中から今回は7件の優秀提案を選考し、当日子ども達自身から提案のプレゼンテーションを受けました。（提案内容は、2Pと3Pに掲載しています）

づくりの取り組みを進めようと、毎年開催されています。

今年は、地域・市民活動団体の報告として、小那比夢ビジョン実行委員会とNPOコミシス郡上の2団体より活動経過報告がありました。

第4回からは協働センターが運営主体となり、市民提案型・参加型のイベント、「まちづくりプロジェクト」を実施してきました。

今年で7回目を迎える「郡上市まちづくりフェスティバル」が昨年十一月二八日に開催されました。市民協働によるまち

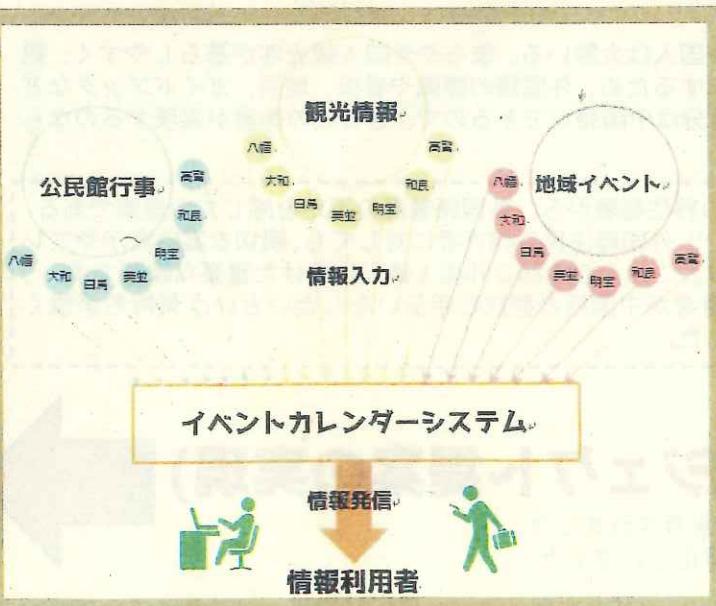


地域団体発表：小那比夢ビジョン実行委員会

選考された 7 提案の表彰

市民団体発表：コミシス郡上

郡上イベントカレンダーシステムの情報募集中です!



昨年6月に開始した「夢づくりまちづくりプロモーション事業」の一つとして始まった「郡上イベントカレンダー」のシステム開発を終え、ようやく情報登録の段階に入ることになりました。(3月中旬稼動予定です)

この事業は「これまで郡上のさまざまな分野から発信されていた行事・イベント情報を、一つのカレンダーで閲覧・検索できる」インターネットの情報提供システムです。

ネット環境に接続されたパソコンはもとより、スマホやタブレットからも簡単に情報取得することができる便利な仕組みです。

現在、そのカレンダーシステムに掲載するイベント情報の収集を進めています。NPO・市民活動団体や地域団体等、イベント登録や情報提供の希望がある団体は、下記メールアドレスにタイトルを「団体登録希望」として登録申請をお願いします→ kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

Good 郡上プロジェクト入賞提案

個性の塊！！ 明宝ハム・鶏ちゃん・郡上ミソ リスペクト！！

猪俣 はるか 罠原 葵 山下 駿生 / 白鳥中学校

明宝ハムや鶏ちゃん、郡上味噌を盛り上げるためのキャラクターを作ったり、ストラップやピアスのような雑貨・アクセサリーを販売したりする。それに加えて、料理研究家に依頼して郡上味噌を使用したマカロンを開発してもらう。

[評価] 生徒達の斬新なアイデアに敬服!! しかも地域の違う白鳥中学の提案です。イラストも良く書けています。郡上の名産品を盛り上げようという生徒達の気持ちが伝わる良い企画です。
企業や協力機関に働きかけ、まずはサンプル試作にこぎつけたいですね!!



郡上市バスツアー



小松 伸一郎 島津 誠和 竹下 知歩 清水 美利 / 白鳥中学校

郡上への観光客は年々増加しているが、スポーツ・レクリエーション目的で訪れる人ばかりで、郡上の文化や自然などは十分に周知されていない。よって、郡上の名所を回るバスツアーを企画し、郡上の文化や歴史、自然を見てもらうきっかけを作りたい。

[評価] 郡上の文化や歴史、自然の魅力を観光客にもっとアピールしたいという企画です。交通アクセスの問題や利便性を市内周遊バスツアーで改善しようというアイデアです。
交通事業者とコラボしたイベントなどできるところから実現したい!!

地域学校をつくろう。



加藤 凪紗 / 大和中学校

郡上にはお年寄りが多く、お年寄りに楽しんでもらえるようなまちづくりをするべきである。よって、「地域学校」を作りたい。そこでは、月1回お年寄りや子どもたちが集まり、昔の遊びをしたり、勉強を教えたりして触れ合うことができるようとする。

[評価] 地域人口の減少や高齢者世帯の課題に対し、自分達が何かできるのかという視点から提案されたアイデアです。
「地域学校」という地域の新たな学び合い拠点の中から、子ども達にもお年寄りにも良いコミュニティインフラを作ろうという提案です。
地域の中で話し合っていけば、実現の可能性は大きいのではないか。

外国人にとって郡上市は暮らしやすい？

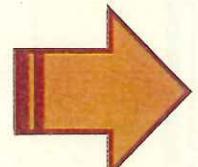
白瑞 / ハ幡西中学校

郡上で暮らす外国人は大勢いる。彼らや外国人観光客が暮らしやすく、観光しやすい郡上にするため、外国語の標識や看板、地図、ガイドブックなどを制作したい。自分は中国語ができるので、もしこの提案が実現するのなら手伝いたい。

[評価] 中国からの移住経験から、外国語表記の不足を感じての提案であることが素晴らしい!! 外国籍住民や旅行者に対しても、親切な案内表示やフレンドリーな対応は、これから訪日外国人観光に向けた重要な課題です。
提案者の白瑞君自身が中国語の翻訳の手伝いをしたいという気持ちが強く伝わった提案でした。

提案その後（26年度のプロジェクト提案の実現）

26年度のGood 郡上プロジェクトでは、5つの優秀提案が選考されました。
その提案の実現に向けて取り組んだ結果、2つの提案を具体化されました。



自分だけの郡上市フォトダイアリー

谷口 加七子 / 八幡西中学校



郡上の魅力を観光客に伝えることによって移住者の増加を狙う。そのために、まずは観光客が楽しく郡上を観光できるよう、スマートフォンやタブレット用のアプリ（市内の看板にかざすと説明や動画が流れたり、自分だけの郡上のアルバムを作れたりすることができます）を開発する。

[評価] 移住人口の増加につなげるために、観光で郡上の魅力を十分に体験してもらうためのスマホアプリ開発です。
若者の必需品として、スマホの機能を使ったアイデアが良いですね!!
アプリ開発を業者に依頼すると、それなりの費用がかかるといわれます
中高生にアプリ開発に関わってもらって試作できるとベストですね。

若者を郡上おどりに呼ぼう

奥村 拓海 佐藤 のぞみ 西村 淳太朗 坪根 淳太郎 / 八幡中学校



郡上おどりを盛り上げるため、夏休みに郡上おどりと白鳥おどりの交流会を行いたい。交流会は小中学生やお年寄りを対象とし、お互いのおどりを教え合う。また、各学校でうちわを作り、交換したりお年寄りに配ったりする。

[評価] 子ども達のおどり離れを解消するとともに、白鳥おどりと郡上おどりの交流を広げようという素晴らしい提案です。
大人では考えつかない斬新な企画、是非実現してもらいたい!!
開催を引き受けてくれる地域を探し、中高生が主催者となり実現すれば郡上の踊り文化の魅力がさらに広がりますね。

ゆかた day をつくろう

殿村 隆来 加藤 フランス 鶩見 拓磨 渋口 大夢 / 八幡中学校



郡上踊りをPRするため、みんなが一日浴衣でアピールする「ゆかた day」をつくりたい。市内で着付けのサポートを行い、また、浴衣が動きにくいと言う人には、郡上おどり Tシャツを無料で配布する。当日は、浴衣を着て店に行くと様々なサービスが受けられるようにする。

[評価] 郡上の踊り文化を町ぐるみで盛り上げようという企画です。
浴衣まで着てプレゼントしてくれた生徒達のやる気が伝わってきます!!
オール郡上で取り組めれば一番良いですが、まずは八幡と白鳥でやってみるのも一つの方法ですね。
八幡中学では、まずは学校でやってみたいと意気込んでいるようです。



26年度に選考された提案の中で、「中高生アユ釣り選手権」と「鮎のカルツォーネ」が具体化されました。鮎釣り選手権は、提案した生徒達が実行委員会を作り、漁協や市民団体に実施協力を依頼し、市や教育委員会のサポートを得て、8月1日の座学講習、7日の実地講習を経て8日当日に正式のルールに沿った鮎釣り選手権が開催されました。今回で自信を得た生徒達は来年の本格実施に向け夢を膨らませています。鮎カルツォーネの商品化については、八幡のレストロサンパさんが試作品の制作協力をしていただけることになり、まちフェス当日には参加者みんなにその味をご賞味いただきました。

郡上を知ろう

地方創生「夢づくりまちづくりプロモーション事業」

～郡上ケーブルテレビ番組企画～

『郡上を知ろう』

放送は、毎週金曜日 <昼> 14:00~15:00 <夜> 20:30~21:30

毎月第2、第4金曜日（昼または夜）更新。他再放送。コミュニティチャンネル（デジタル 12ch）

昨年10月より、“郡上の人人がもっと郡上を知る”番組、『郡上を知ろう』の放送が始まりました。

郡上に暮らす私たち一人ひとりが、もっと郡上の魅力を知り、愛着をもってまわりの人や市外にいる知人にも自慢する、そんな郡上の魅力発信のきっかけになるような番組づくりを目指しています。

また、番組内の「元気人」コーナーでは、“元気に頑張る郡上人”をテーマに、郡上各地の元気人にインタビューしてまわっています。ぜひ、ご視聴ください♪

これまでに次のような企画を放送しました。



第1回 「郡上八幡を歩こう part 1～町家を生かす～」

第2回 「戸隠神社大祭（九頭の宮祭り）～2つの農村舞台～」

第3回 「山の講～やまのかみさま おきやせ～」

第4回 「石徹白の保存食～知恵のある暮らし～」

第5回 「絵本をつくる～描き、伝える。私たちの地域～」

第6回 「郡上本染～清流の鯉のぼり～」

今後もこれらを再放送する機会をつくり、より多くの方々にご視聴いただきたいと思います。

また、番組制作においては、たくさんの方々にご協力いただき、誠にありがとうございます。今後も各地で取材をさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

センター長を拝命し一年間が過ぎようとしています。そしてこの3月末でその役職から退く予定です。

センター長の2年間と、運営委員だった期間を合わせると約4年の月日が経ちます。それはそのまま郡上市の市民協働センターの4年間でもありました。

「これからまちづくりは市民協働でしか実現できない」という想いから、市民協働の活動を取り組ませていただきましたが、今から振り返るとその足取りは軽快なものではありませんでした。「市民協働って何?」という疑問に答えることから始める必要があつたからです。

「今まで役所がやってきたを、なぜ市民が負担しなければならないの?」多くの人々は今もその疑問を抱えています。

有る意味でそれは、行政説明が十分に届いていないからと考えることもできます。

本来、自治という地域コミュニティには両者の信頼関係が不可欠であり、現代のように分業化される以前は、小さな単位での論議を積み重ねる中から集落の合意形成を生み出してきました。今、私達の目の前に現れてくる現実は、ことさらに厳しさを増しています。「これまでのよう」いう願いは叶えられそうにありません。

未来は変更可能だと誰かの言葉ですが、それを実現するためにはその主体がまず変わらなくてはなりません。

合併後十年を過ぎた今、まちづくりフェスティバルに応募された中高生の提案からは、「郡上をどうしていくのか?」という問い掛けが溢れ出しています。

子ども達が大人になり郡上に帰つてこられる子でも達が大人になり郡上に帰つてこられる地域にするためにも、まずは大人たちがモデルを示す必要があります。これからの4年間でそんなことを実現することを期待しています。長い間ありがとうございました。



郡上市 市民協働センター

TEL 0575-88-2217 FAX 0575-88-2218 E-mail kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

〒501-4607 郡上市大和町徳永 585 番地 郡上市役所 大和庁舎 1階

業務日時：月曜日～金曜日 8:30～17:15 (土・日・祝祭日・12/29～1/3 を除く)

※事前にご予約いただければ、平日は 20:00まで、土・日曜日は 10:00～17:00まで対応可能です